

第6次宇都宮市障がい者福祉プラン 重点取組進捗管理

基本目標1 自分らしく生き生きと自立して暮らせる社会の実現

基本施策	No	取組名	取組内容	参考：関連する施策指標	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	R 11年度	評価	令和6年度の評価（成果や課題）	令和7年度の取組内容				
就労支援の充実	2	障がい者就職サポートの推進	障がい者の自立に向けた一般就労を支援するため、商工会議所やハローワーク等の関係機関と連携し、企業説明会や面接の体験など、就職に向けたサポート活動の取組を推進する。	福祉施設利用者の一般就労への移行者数 基準値（R4） 97人 目標値（R11） 132人	参考 目標値	112人	参考 目標値	114人	参考 目標値	117人	参考 目標値	120人	参考 目標値	126人	目標値	132人	A ・「障がい者就職ガイダンス」等の就職支援事業に加え、令和6年度から新たに「企業向けセミナー」を実施したことにより、障がい者の就職につながる機会の創出が図られた。 ・引き続き、障がい者の就職につながる機会を創出するために、障がい者就労支援事業所や関係機関と緊密に連携し事業を実施していく。 ・令和6年度より開始した、障がい者の就労に協力的な企業を認定・周知する「宇都宮市障がい者サポート企業制度」と既存の就職支援事業を一体的に取り組むことで、さらなる障がい者雇用の促進につなげていく。
					実績値	162人	実績値		実績値		実績値		実績値		実績値		
					達成度	144.6%	達成度		達成度		達成度		達成度		達成度		
就労支援の充実	6	工賃向上等支援事業の充実	障がい者福祉施設における障がい者のより一層の工賃向上が図られるよう、施設で提供できる役務等に関する情報の発信や施設製品の販路拡大等の支援の充実を図る。	就労継続支援事業所における平均工賃月額 基準値（R4） 17,895円 目標値（R11） 23,000円	参考 目標値	19,280円	参考 目標値	20,013円	参考 目標値	20,774円	参考 目標値	21,563円	参考 目標値	22,145円	目標値	23,000円	A ・「わく・わくショップU」における魅力ある製品について、大型商業施設におけるマルシェ等で販売会を実施した。 ・営業活動による出張販売先の増加など、工賃向上等のための支援を積極的に実施したことにより、「わく・わくショップU」などの売り上げが増加した。 ・「福祉的就労業務開拓・マッチング事業」については、一般企業から事業所に対する役務の開拓等を実施したほか、一般企業からの大量発注に対し、複数の事業所に対応するなどの共同受注の調整を図り、役務獲得につなげることができた。 ・「わく・わくショップU」における魅力ある製品について、大型商業施設におけるマルシェ等で販売会を実施した。 ・営業活動による出張販売先の増加など、工賃向上等のための支援を積極的に実施したことにより、「わく・わくショップU」などの売り上げが増加した。 ・「福祉的就労業務開拓・マッチング事業」については、一般企業から事業所に対する役務の開拓等を実施したほか、一般企業からの大量発注に対し、複数の事業所に対応するなどの共同受注の調整を図り、役務獲得につなげることができた。 ・障がい者の就労及び工賃水準の向上につなげるために、引き続き、「わく・わくショップU」の運営や事業所連絡会議の開催、「福祉的就労業務開拓・マッチング事業」の実施により、役務の受注機会の拡充及び共同受注の獲得を行う。 ・各種イベント等の機会を捉え、新たな販路の拡大に取り組んでいく。
					実績値	22,672円	実績値		実績値		実績値		実績値		実績値		
					達成度	117.6%	達成度		達成度		達成度		達成度		達成度		
文化芸術・スポーツ活動等の推進	11	障がい者のアート作品コンクールの推進	障がい者の文化活動の発表を通して、広く市民に障がい者の活動や福祉についての理解を促進する。	文化芸術活動を行っている障がい者の割合 基準値（R4） 13.1% 目標値（R11） 20.0%	参考 目標値	-	参考 目標値	-	参考 目標値	-	参考 目標値	-	参考 目標値	-	目標値	30.0%	A ・人通りの多い駅や大型商業施設を中心に障がい者のアート作品の巡回展を開催することにより、障がい者の文化活動の支援や市民の福祉についての理解促進に努めた。 ・引き続き、市民に障がい者の芸術活動や障がい福祉についての理解促進を図るためコンクールを開催する。 ・集客効果の高い会場で巡回展を開催するほか、SNSを活用し、来場できない人に対する周知活動や受賞作品を紹介するカレンダー等を配付することで、普及啓発に取り組んでいく。
					実績値	-	実績値	-	実績値	-	実績値	-	実績値	-	実績値	-	
					達成度	-	達成度	-	達成度	-	達成度	-	達成度	-	達成度	-	
文化芸術・スポーツ活動等の推進	13	障がい者スポーツ体験会の実施	障がい者スポーツに興味・関心を持つことにより、より充実した生活が送れるよう、民間事業者等と連携しながら、障がい者スポーツの体験会等を開催する。	スポーツを行っている障がい者の割合 基準値（R4） 22.4% 目標値（R11） 30.0%	参考 目標値	-	参考 目標値	-	参考 目標値	-	参考 目標値	-	参考 目標値	-	目標値	20.0%	A ・障がい者が障がい者スポーツに興味・関心を持つことにより、充実した生活が送れるよう、東京ガス株式会社と連携したモルックの体験会（2回）や一般社団法人日本肢体不自由者卓球協会と連携したパラ卓球体験イベントを実施したことにより、障がい者のスポーツ活動の推進が図られた。 ・引き続き、スポーツを通じて障がい者の生活の充実を図れるよう、民間事業者等と連携しながら、障がい者スポーツ体験会の実施に取り組んでいく。
					実績値	-	実績値	-	実績値	-	実績値	-	実績値	-	実績値	-	
					達成度	-	達成度	-	達成度	-	達成度	-	達成度	-	達成度	-	
外出・移動支援の充実	18	外出・移動時の支援の実施	社会参加や外出機会の増加に伴う多様なニーズに対応するため、同行援護や行動援護、移動支援事業により、障がい特性に応じた外出支援サービスを提供するとともに、公共交通等の変化を捉え、交通費助成等の支援の充実を図る。	外出・移動支援サービスに満足している障がい者の割合 基準値（R4） 56.6% 目標値（R11） 70.0%	参考 目標値	-	参考 目標値	-	参考 目標値	-	参考 目標値	-	参考 目標値	-	目標値	70.0%	A ・障がい特性や多様な外出ニーズを踏まえながら適切な支給決定を行った。特に、同行援護については、個々の状況に応じ必要とする支給決定量に対し柔軟な対応を図った。 ・引き続き、利用者等の多様なニーズを踏まえながら、個々の状況に柔軟に対応し、適切な支給決定を行うことで、外出・移動時の支援の充実に取り組んでいく。
					実績値	-	実績値	-	実績値	-	実績値	-	実績値	-	実績値	-	
					達成度	-	達成度	-	達成度	-	達成度	-	達成度	-	達成度	-	
外出・移動支援の充実	19	通学・通所における移動支援の推進	介護者の負担軽減や就労時間の確保のため、ひとり親世帯や共働き世帯であるなど、介護者による移動の支援が困難な障がい者に対し、通学・通所における移動支援を実施する。 利用者本人や介護者の利便性の向上、通所先の選択肢拡大、介護者のレスパイトや就労時間等の確保を図るため、通所系の地域生活支援事業（日中一時支援事業など）について、支援の充実を図る。	-	参考 目標値	-	参考 目標値	-	参考 目標値	-	参考 目標値	-	参考 目標値	-	目標値	-	A ・これまで、「放課後等デイサービス」など、通所系の法定サービス（報酬等も国が定める）や市の裁量で実施する地域生活支援事業の一部サービスにおいても送迎加算を設けていたが、親なき後を見据え、介護者の送迎が無くても通所を継続できる支援策・仕組みが必要であることから、デイケア事業を新たに送迎加算の対象に追加した。 ・日中一時支援事業において、学校から事業所までのみを送迎加算の対象としていたが、自宅から事業所までも新たに送迎加算の対象とし、対象範囲の拡充を図った。 ・引き続き、利用者等のニーズを踏まえながら、個々の状況に応じ、障がい児・者への移動支援の提供や事業所における適正なサービス提供を行い、介護者の送迎にかかる負担軽減に取り組んでいく。
					実績値	-	実績値	-	実績値	-	実績値	-	実績値	-	実績値	-	
					達成度	-	達成度	-	達成度	-	達成度	-	達成度	-	達成度	-	

第6次宇都宮市障がい者福祉プラン 重点取組進捗管理

基本目標2 乳幼児期から生涯にわたり地域で安心して暮らせる社会の実現

基本施策	No	取組名	取組内容	参考：関連する施策指標	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	R 11年度	評価	令和6年度の評価（成果や課題）	令和7年度の取組内容		
発達支援の充実	26	発達支援ネットワーク事業の充実	発達の遅れや障がいのある児童，医療的ケアが必要な児童に対し，乳幼児期から就労期にわたり，ライフステージに応じた一貫した支援を提供するため，医療・保健・福祉・教育・就労などの関係課や関係機関が連携を強化し，発達支援を推進する。	－	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	目標値 実績値 達成度	A	・「発達支援ネットワーク会議」を開催し，ライフステージに応じた切れ目のない支援を実施するための「つながるファイル」を作成した。 ・障がい児通所支援事業所等の情報共有や療育技術の向上を図るため，「障がい児通所支援・相談支援事業所連絡会」を立ち上げ，発達支援ネットワークの構成メンバーに追加した。	・ネットワーク会議での意見等を参考にしながら，「個別の支援計画」の周知用パンフレット等を作成し，保護者や関係機関に周知していく。	
	32	障がい児通所給付事業の推進	障がい児が適正な時期に支援を受けられるよう，迅速な給付の要否決定及び請求に対する適正な審査と給付費の支払いを行う。	－	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	A	・障がい児通所支援サービスの利用を希望する障がい児に対して，適正に給付の要否を決定し，必要な給付を遅滞なく支給できた。	・引き続き，障がい児通所給付費の請求に係る審査事務において，効率的な審査方法を検討し，実施する。	
	33	障がい児相談支援の更なる推進	障がい児の特性に応じた療育を適切に提供できるよう，指定障がい児相談支援事業所の相談支援専門員への助言や研修の受講を奨励するなど，人材育成を図るとともに，保護者に障がい児相談支援の活用を促す。	手帳所持児のうち，障がい児相談支援を利用している障がい児の割合 基準値（R4） 57.0% 目標値（R11） 70.0%	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	70.0%	A	・相談支援事業所を利用していない手帳所持児の通所受給者証申請時に，相談支援事業所の利用を促した。	・引き続き，相談支援事業所を利用していない手帳所持児の通所受給者に相談支援事業所の利用を促す。特に新規申請者には案内チラシを活用することなどにより利用を促す。 ・相談支援事業所の利用向上及び相談支援専門員の確保に向けた他市の取組を調査・研究する。
	39	障がい児通所支援事業者の療育技術の充実強化	地域の中核的な療育支援施設である児童発達支援センター（子ども発達センター）が実施する各種療育の体験見学や専門職による研修会などを通して，通所支援事業者の療育技術の向上を図る。 また，重症心身障がい児が身近な地域で適切な支援を受けられるよう，通所支援事業者と意見交換等を実施することにより，事業者の理解を得ながら受け入れ促進を図る。	－	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	目標値 実績値 達成度	A	・児童発達支援事業所職員等を対象としたすが園・若菜園及び専門職療育の体験・見学研修により，民間事業所職員の療育スキルの向上を図ることができた。（参加事業所41箇所，参加者62人） ・障がい児通所支援事業所等の情報共有や療育技術の向上を図るため，「障がい児通所支援・相談支援事業所連絡会」を立ち上げた。	・立ち上げた事業所連絡会において意見交換や研修会を実施し，事業所間の連携の強化及び事業所の支援の質の向上を図る。 ・保育所等訪問支援事業所を対象とした情報交換会を実施し，効果的な支援方法等について情報共有を図るとともに，事業所間の連携を深め療育技術の向上につなげる。
	40	新たな支援ツール「（仮）つながるファイル」の作成	発達支援が必要な児童とその家族が，乳幼児期から就労期につながるまで一貫した切れ目のない支援を受けられるよう，地域の保健・医療・福祉・保育・教育・就労等の関係機関とライフステージを通して保護者と支援者が共に活用できる新たな支援ツール「（仮）つながるファイル」を作成する。	－	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	目標値 実績値 達成度	A	・医療・保健・福祉・教育等25の関係機関・団体で構成する「宇都宮市発達支援ネットワーク会議」を活用し，令和7年2月，保護者が作成・保管し，子どもの成長の様子や支援経過などの情報一つにまとめることができ，保護者と関係機関が共に活用できる「つながるファイル」を作成した。	・発達支援が必要な児童の家族に「つながるファイル」を配布，積極的な作成を促し，日常の中での利用促進を図る。 ・子ども発達センター等の事業において活用するとともに児童の支援に携わる関係機関等への活用促進に向けた案内周知を行い，日々の支援において情報の共有や引継ぎなど積極的に活用していく。
相談支援の充実	41	学校組織の対応力強化と教員の指導力の向上	特別な支援を必要とする児童生徒が有する多様なニーズに的確に対応するため，学校組織の対応力強化と教員の指導力向上に取り組む。	－	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	目標値 実績値 達成度	A	・児童生徒の発達段階や特性に応じた支援を充実させるため，学校生活適応支援アドバイザー等が学校訪問を実施し，特別な教育的ニーズのある児童生徒への指導法などを助言することで，校内支援体制や教員の学級経営力の向上が図られた。	・すべての教員が児童生徒の多様なニーズに対応できるよう，特別支援学級での指導経験等を通して指導力の向上を図るとともに，特別支援教育の視点を取り入れた授業実践を推進する研修を実施することで，インクルーシブ教育を推進していく。
	47	地域における相談支援体制の充実	障がい者が安心して相談ができるよう，「基幹相談支援センター」，「障がい者生活支援センター」，「相談支援事業所」が相互に連携を図るとともに，相談支援機関への研修等により人材育成を図る。また，保健と福祉のまるごと相談窓口「エールU」（地域包括支援センター等）などの関係機関と連携し，相談支援体制の充実を図る。	困らずに相談できる障がい者の割合 基準値（R4） 46.0% 目標値（R11） 60.0%	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	60.0%	B	・「重層的支援体制」における各機関の役割に応じ，各機関が連携し支援に取り組んできたほか，相談支援専門員の支援力向上を図るブロック別研修会や行政説明会を実施するとともに，相談支援機関同士の連携強化や相談支援体制の強化が図られた。 ・近年課題となっている障がい者の保護者の高齢化に伴う親なき後を見据えた支援が求められており，「親なき後」の専門的な相談にも対応した体制を整備する必要がある。	・引き続き，「重層的支援体制」により，各機関が連携しながら支援を実施するとともに，研修等による各相談支援機関の人材育成を行い，相談支援機能の充実・強化を図るほか，親なき後に備え，相続・財産管理などの専門的な相談にも対応できるよう，弁護士などと連携した専門的相談窓口を新たに設置することで，障がい者やその家族にとって相談しやすい環境づくりに取り組んでいく。
	49	精神障がい者の地域生活への移行促進	保健・医療・福祉の関係者が円滑に連携して，精神障がい者を地域移行につなぐため，情報共有・意見交換の場を設置するとともに，人材育成による受け入れ体制の強化に係る取組を実施する。	－	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	目標値 実績値 達成度	A	・「にも包括の理念の共有」，「長期入院患者の現状・医療機関が感じている課題の把握」を目的として，精神科病棟のある市内7つの医療機関を訪問し，長期入院患者の状況等のヒアリングを実施した。聞き取りの結果を踏まえ，医療機関や福祉関係者などが情報共有・意見交換を行う場を設置することとした。 ・地域における支援力向上を目的として，グループホーム職員を対象に精神障がいに関する基礎的な知識や対応方法をテーマとした研修会を実施し，55名が参加した。	・引き続き，グループホーム職員をはじめとした支援現場職支援力向上を図るとともに，精神障がい者を支援する関係者との意見交換の場の設置に向け取り組んでいく。
	52	住まいの場の充実	障がい者の地域移行や重度化・高齢化に対応する住まいの場として，重要な役割を果たすことから，運営する法人に対する施設整備等の支援を充実し，グループホームの設置促進を図る。	重度障がい者のグループホーム利用者数 基準値（R4） 194人 目標値（R11） 410人	参考 目標値 実績値 達成度	230人 参考 目標値 実績値 達成度	266人 参考 目標値 実績値 達成度	302人 参考 目標値 実績値 達成度	338人 参考 目標値 実績値 達成度	374人 参考 目標値 実績値 達成度	410人 参考 目標値 実績値 達成度	目標値 実績値 達成度	B	・グループホームでの重度障がい者の受け入れを促進するため，令和6年度から新たに介護用品の購入やバリアフリー工事への補助事業を開始したが，補助実績は1法人2件のみに留まったことから，事業の更なる周知に取り組む必要がある。	・重度障がい者の受け入れができるグループホームの整備を促進するため，補助事業広く周知していく。
	62	障がい福祉サービス等の充実	障がい特性に応じたサービスの提供ができるよう，訪問介護や同行支援などの障がい福祉サービスの質の向上に努めるとともに，移動支援事業などの地域生活支援事業については，障がい者のニーズを把握しながら必要に応じて見直しを図る。 利用者本人や介護者の利便性の向上，通所先の選択肢拡大，介護者のレスパイトや就労時間等の確保を図るため，通所系の地域生活支援事業（日中一時支援事業など）について，支援の充実を図る。（No19再掲） 入浴サービスの提供について，日中一時支援事業（医ケア）における入浴支援など，安定したサービス提供の確保に向けた支援の充実を図る。	医療やリハビリテーションに満足している障がい者の割合 基準値（R4） 90.1% 目標値（R11） 95.0%	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	95.0%	A	・地域生活支援事業において，介護者の送迎が無くとも通所を継続できる支援策・仕組みが必要であることから，デイケア事業を新たに送迎加算の対象に追加したほか，日中一時支援事業においても，学校から事業所までのみを送迎加算の対象としていたが，自宅から事業所までも新たに送迎加算の対象とするなど対象範囲の拡充を図った。	・引き続き，障がい者のニーズ把握に努めるとともに，必要に応じて見直しを検討する。
65	計画相談支援の推進	障がい者の自己選択・自己決定を尊重しながら，地域生活に必要なサービスを適切に提供できるよう，指定特定相談支援事業所の相談支援専門員への助言や研修の受講動員などにより人材育成を図り，サービス等利用計画の作成を支援する。	－	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	参考 目標値 実績値 達成度	目標値 実績値 達成度	A	・相談支援専門員取得に必要な初任者研修の研修受け入れを行うほか，相談支援専門員を対象としたブロック別研修会を開催し，相談支援専門員の質の向上を図るとともに，相談支援専門員同士の連携強化を図った。	・引き続き，相談支援専門員の質の向上と連携強化を図るため，「基幹相談支援センター」と「障がい者生活支援センター」を中心に研修会を開催する。

第6次宇都宮市障がい者福祉プラン 重点取組進捗管理

基本目標3 互いに尊重し支え合う暮らしやすい社会の実現

基本施策	No	取組名	取組内容	参考：関連する施策指標	R 6年度	R 7年度	R 8年度	R 9年度	R 10年度	R 11年度	評価	令和6年度の評価（成果や課題）	令和7年度の取組内容								
障がいへの理解促進・差別解消の推進	70	地域や企業における障がいへの理解促進事業の充実	障がい者週間における街頭啓発活動やイベントを実施するとともに、地域や企業等への出前講座の実施などにより、障がいへの理解促進を図る。合理的配慮の提供を促進するための啓発動画の放映などを行うほか、民間事業者に対して、合理的配慮の提供の義務化について周知啓発を行う。発達障がいについて市民の正しい理解を促進するため、発達障がい啓発週間講演会や出前講座等を通して啓発活動を行う。	障がいのある人に対して、障がいを理由とする差別や偏見がないと感じている人の割合 基準値（R4） 70.6% 目標値（R11） 80.0%	参考目標値	—	参考目標値	—	参考目標値	—	参考目標値	—	A	・広報紙の特集や啓発動画の放映、出前講座、障がい者週間での街頭啓発等により、障がいや障がい者に対する理解促進に取り組みとともに、令和6年4月に民間事業者による合理的配慮の提供が義務化されたことを契機として、リーフレット配布などにより民間事業者への周知啓発を行った。	・障がい者が地域で安心して暮らせるよう、引き続き、出前講座等を実施するほか、障がいへの関心が低い若年層を対象にSNSを活用した周知啓発に取り組みとともに、民間事業者へ合理的配慮の説明会を開催し、より一層、理解促進を図っていく。						
					実績値	—	実績値	—	実績値	—	実績値	—				実績値	—				
					達成度	—	達成度	—	達成度	—	達成度	—				達成度	—				
障がいへの理解促進の推進	76	小学校における障がいへの理解促進事業の充実	小学校における盲導犬ふれあい教室の開催や出前講座の実施により、幼少期からの障がいへの理解を図る。	—	参考目標値	—	参考目標値	—	参考目標値	—	参考目標値	—	A	・これまで小学校において実施してきた盲導犬ふれあい教室に加え、新たに障がい者当事者を講師とした講話や障がい者スポーツの体験教室を開催することにより、幼少期からの障がいへの理解促進が図られた。	・引き続き、小学校における出前教室により、幼少期からの障がいへの理解促進に取り組んでいく。						
					実績値	—	実績値	—	実績値	—	実績値	—				実績値	—				
					達成度	—	達成度	—	達成度	—	達成度	—				達成度	—				
権利擁護の充実	78	障がい者虐待防止に関する取組の推進	障がい者に対する虐待の通報・相談に対し迅速かつ的確に対応するとともに、広報・啓発活動の実施などにより、障がい者虐待の防止・早期発見を推進する。	—	参考目標値	—	参考目標値	—	参考目標値	—	参考目標値	—	A	・虐待の通報・相談に対し、迅速に事実確認や必要となる支援を行うとともに、必要に応じて関係支援機関と連携を図りながら的確に対応を行った。	・引き続き、虐待の通報・相談に対しては、迅速かつ的確に対応する。 ・支援者向けに虐待防止研修等を実施し、虐待の防止や早期発見の推進を図る。						
					実績値	—	実績値	—	実績値	—	実績値	—				実績値	—				
					達成度	—	達成度	—	達成度	—	達成度	—				達成度	—				
情報アクセシビリティの向上及び意思疎通支援の充実	83	情報アクセシビリティの向上	広報紙等の点字・音声版作成や、どのブラウザからアクセスしても音声読み上げに対応したホームページの作成、デジタルを活用した情報発信など、障がい特性に応じた情報提供に取り組み、情報アクセシビリティの向上を図る。	日常生活や社会生活に必要な情報を取得できている障がい者の割合 基準値（R4） 89.0% 目標値（R11） 95.0%	参考目標値	—	参考目標値	—	参考目標値	—	参考目標値	—	A	・令和4年に施行された「情報アクセシビリティ・コミュニケーション施策推進法」の趣旨を踏まえ、障がい特性や個々のニーズに応じた情報の取得・利用ができるよう、障がい者支援アプリ「わく・わくアプリU」を導入するとともに、「情報バリアフリー推進ガイドライン」を改定したことにより情報アクセシビリティの向上が図られた。	・障がい者が個々のニーズ等に応じた情報が取得できるよう、商業施設等のバリアフリー情報や障がい福祉サービス等を提供する事業所の情報などの情報の充実を図るとともに、関係機関等と意見交換を行い、機能の拡充を検討していく。 ・障がい者が情報の取得・利用において、適切な配慮が受けられるよう、市内事業者等へのガイドラインの周知に取り組んでいく。						
					実績値	—	実績値	—	実績値	—	実績値	—				実績値	—				
					達成度	—	達成度	—	達成度	—	達成度	—				達成度	—				
意思疎通支援の充実	86	意思疎通支援の充実	聴覚障がい者や視覚障がい者が円滑に情報を取得できるよう、養成講座等の実施により、音訳・点訳・手話通訳等の意思疎通支援者を養成するとともに、聴覚障がい者等が日常生活を営む上でコミュニケーションを行う場合に、手話通訳者や要約筆記者、盲ろう者通訳・介助員等を派遣する。	—	参考目標値	—	参考目標値	—	参考目標値	—	参考目標値	—	B	・手話、音訳、点訳奉仕員の養成講座を実施するなど、意思疎通支援に係る人材育成を行うことにより、聴覚及び視覚障がい者等の日常生活支援や社会参加の促進が図られたが、各講座の受講者が少ないことから、受講者増に向け、講座の周知を行う必要がある。 ・手話通訳者、要約筆記者などの派遣に加え、県との共同で「盲ろう者通訳・介助員派遣事業」や「失語症者向け意思疎通支援者派遣事業」を実施し、聴覚障がい者等の日常生活支援や社会参加の促進が図られた。	・意思疎通を図ることに支障のある障がい者の社会参加等の促進に向け、イベントなどを活用し、奉仕員養成講座の周知に取り組むとともに、引き続き、各種奉仕員養成講座の開催や手話通訳者・要約筆記者の派遣を実施していく。						
					実績値	—	実績値	—	実績値	—	実績値	—				実績値	—				
					達成度	—	達成度	—	達成度	—	達成度	—				達成度	—				
災害時支援・地域の多様なネットワーク機能の充実	92	災害時要援護者支援事業の推進	聴覚障がい者や視覚障がい者が円滑に情報を取得できるよう、養成講座等の実施により、音訳・点訳・手話通訳等の意思疎通支援者を養成するとともに、聴覚障がい者等が日常生活を営む上でコミュニケーションを行う場合に、手話通訳者や要約筆記者、盲ろう者通訳・介助員等を派遣する。	災害時要援護者台帳共有地区数 基準値（R4） 34地区 目標値（R11） 39地区	参考目標値	35地区	参考目標値	35地区	参考目標値	36地区	参考目標値	37地区	参考目標値	38地区	目標値	39地区	B	・説明会の実施や台帳更新に取り組み、各地域における制度理解や台帳の安定的な運用を促進した。 ・より地域との連携を深め、全地区への支援班の設置や円滑な台帳整備、防災訓練での要援護者の参加などを通して、支援体制の実効性を高める必要がある。	・災害時要援護者支援制度の手引きや補償制度等を活用しながら、地区の状況に応じて制度の理解促進を図り、制度への参入を促進する。 ・近隣の事業者や社会福祉事業者、福祉協力員等に対し、本制度未登録者への制度周知・登録促進や、災害発生時において要援護者の避難誘導等を行う「避難支援者」への協力を働きかけるとともに、地域内の要援護者の把握や避難支援者の選任などを行う地区支援班に「避難場所」の確認・選定を行う。 ・災害時における避難の実効性向上に資するICTを活用した安否確認ツールの構築を検討する。		
					実績値	34地区	実績値		実績値		実績値		実績値							実績値	
					達成度	87.2%	達成度		達成度		達成度		達成度							達成度	
自立支援協議会の活動の充実	93	自立支援協議会の活動の充実	障がい者の自立支援、就労及び権利擁護等の推進に向け、関係機関等が情報を共有し、連携を図るとともに、各部会において、課題解決に向けた検討、意見交換等を行う。	—	参考目標値	—	参考目標値	—	参考目標値	—	参考目標値	—	目標値	—	A	・自立支援協議会の相談支援部会、就労支援部会、地域生活支援部会、精神障がい者地域移行・定着支援部会において、課題解決に向けた検討、意見交換等を行うとともに、全体会を活用し、関係機関等で情報を共有し、連携強化を図った。	・引き続き、自立支援協議会等を活用し、関係機関等と連携を図りながら、障がい者の自立支援、就労及び権利擁護等の推進していく。				
					実績値	—	実績値	—	実績値	—	実績値	—						実績値	—		
					達成度	—	達成度	—	達成度	—	達成度	—						達成度	—		